

抵抗の音楽

— 世界に響く闘いのリズム

音楽は映画などの大衆文化と同様に、その時代の社会情勢を色濃く反映します。紛争や圧政により生活が脅かされてきた人びとにとって、音楽は権力に対する抵抗手段の一つとなりました。奴隷として異国の地に送られ、激しい差別や過酷な生活状況の中を生き抜いた黒人にとって、音楽は明日を生きるための力となったはず。この講座では、世界各地の人びとの抵抗や運動の文化を、それを支えたミュージシャンたちの生き方と彼らの音楽を通して見ていくことで、今の時代における音楽の可能性について考えていきます。毎回、映像を見たり楽曲を聞いたりしながら、各地域の豊かな音楽文化を体感しましょう。

- 2013年6月～11月 ■ 基本的に金曜日 19:00～21:00
- 全6回/定員30名 ■ 受講料：24,000円

6/6 (木)

オリエンテーション

暴力、権力、差別、腐敗、不正義に抗う 世界の民衆、それを支える音楽

船田クラークさん (東京外国語大学大学院地域文化研究科 准教授)

生命の中、生活の中、運動の中から生まれ、反響しあい、ウネリとなって、また戻っていく「音楽」。民衆の抵抗の魂、リズム、エネルギー、歌に踊り、そして連帯。座学に留まらない「抵抗の音楽」の世界へ皆さまを誘います。



●主著：『アフリカ入門—ポップカルチャーから政治経済まで』明石書店 2010/『モザンビーク解放闘争史「統一」と「分裂」の起源を求めて』御茶の水書房 2007 ●参考文献：講師の公式ブログの関連サイトで紹介していきます → <http://afriqclass.exblog.jp/i36>

7/5

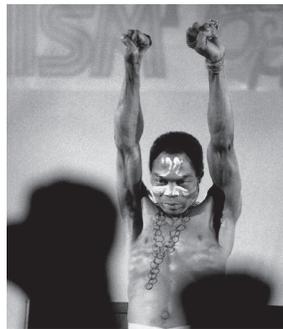
アフリカ： フェラ・クティとアルファ・ブロンディ — アフロ・ビートとアフリカン・レゲエ、 それぞれの戦い方

鈴木裕之 (国士館大学法学部 教授)

アフリカ発抵抗の音楽を、ナイジェリアのフェラ・クティ、コート・ジヴォワールのアルファ・ブロンディ、というふたりのアーティストをとおして紹介する。



●主著：『ストリートの歌 現代アフリカの若者文化』世界思想社 2000/『アフリカ文化論—音楽から見たアフリカ社会、伝統から現代まで』船田クラークさん (編)『アフリカ入門—ポップカルチャーから政治経済まで』明石書店 2010 ●参考文献：マビヌオリ・カゾデ・イドウ『フェラ・クティ 戦うアフロ・ビートの伝説』晶文社 1998/エレン・リー『アフリカン・ロッカーズ ワールド・ビート・ドキュメント』JICC出版局 1992



フェラ・クティ

8/2

ラテン・アメリカ： 「新しい歌」運動、そして現在へ

八木啓代 (作家/音楽家)

1960年から90年代にかけて、中南米各国で文化的にも社会的にも大きな影響を残した「新しい歌」の運動について、ビデオや音源などを紹介しながら、解説します。



●主著：『ラテンに学ぶ幸せな生き方』講談社+α新書 2010/『キューバ音楽』(共著)青土社 2009 ●参考文献：八木啓代『禁じられた歌 ビクトル・ハラはなぜ死んだか』晶文社 1991 (Amazon Kindle版 2013) / 八木啓代『危険な歌 世紀末の音楽家たちの肖像』幻冬舎文庫 1998

9/11 (水)

アメリカ： ブルース、ソウル、ロック、ヒップホップ — 世界に広がるブラック・ミュージックの歴史

ピーター・バラカン (プロドキャスター)

ロックの反骨精神はどこから生まれたかということ、基本的にブルースです。ますます険しくなってきた世の中を気分よく生き抜くためにも参考にできることが多いはず。



●主著：『ラジオのこちら側で』岩波新書 2013/『魂 (ソウル) のゆくえ』アルテスパブリッシング 2008

10/4

アラブ：自由を求める若者たちの歌

中町信孝 (甲南大学文学部 准教授)

庶民派、ロック、ヒップホップ…「アラブの春」ではさまざまな音楽が若者たちを鼓舞し、革命の成就に導きました。アラブ世界の新たな音楽潮流は、彼らが何を指し、何と戦っているのかを何よりも雄弁に物語っています。



●共著：『現代エジプトを知るための60章』明石書店 2012/『イスラーム世界のことばと文化』成文堂 2008 ●参考文献：『アラブ革命 チュニジア・エジプトから世界へ』『現代思想』2011年4月臨時増刊号 青土社/関口義人(編)『アラブ・ミュージック その深遠なる魅力に迫る』東京堂出版 2008



© Elvert Barnes



© Christian Senger

春の自由学校まつり 2013 へ遊びにきませんか！

自由学校まつりは、その年の自由学校受講生有志が中心になってつくる一年間の集大成イベント。クラスで学んだこと・考えたことの発表の他、出展、ミニライブ、ゲストトークなどがあります。今年のメインテーマは「生きることと働くこと」です。どのように生きるか、働くかを問い直す動きが高まる昨年、このイベントで、さらに見方を広げて下さいね。みなさんと、まるくなって楽しく語り合える時間も用意しています。さらに、農業クラスの野菜やカフェクラスのお食事、ビールクラスの手作りビールなど、他では味わえないものの販売もあります。パンフレットを読みながら「自由学校ってどんなところ？」と思っているあなた、まずはお気軽に、まつりに遊びに来て下さい♪ きっと新しい出会いや発見があるはず。

【日 時】2013年3月24日(日) 12:00～18:00 (途中入退場自由)

【場 所】内神田集会室和室A (千代田区内神田1-1-3)

【最寄り駅】大手町(東京メトロ丸の内線・東西線・千代田線・半蔵門線・都営三田線) から徒歩5分

【参加費】500円(ドリンクチケット付き)

【内 容】◇ゲストトーク：竹信三恵子さん(和光大学教員/ジャーナリスト/2013年度「現代社会を知るための10のキーワード」クラス講師)

◇2012年度自由学校のクラス・クラブ発表…キムのActive English / 世界のニュースから国際情勢を読み解こう / 五感で学ぶ! アイヌ民族のことばと文化 / はじめてのケチュア語 / 地域で創る。脱成長な生き方・働き方 / 生きる—表現者たちが紡ぐ哲学 / 東京を歩く / 文化としてのビールを味わう / コミュニティ・カフェをつくらう! / 東京で農業! / 生きることは表現すること / 社会にモノ言うはじめての一步活動家一丁あがり! / 明日の日本を考える会 / 野菜にも一言いわせて! さよなら原発デモ!! / 三線クラブ / ほか(順不同)

◇2013年度自由学校のご紹介

◇販 売…「コミュニティ・カフェをつくらう」クラス手作りのごはん・お菓子、「東京で農業!」クラスの畑でとれたお野菜、「文化としてのビールを味わう」クラスで仕込んだ特製ビール / ほか

■ 詳しい内容は随時ブログで公開しますので、最新の情報は、ぜひこちらをご確認ください。

◎2013年春のPARC自由学校まつり! お知らせブログ <http://ameblo.jp/parcfs-matsuri/> (「自由学校まつり」で検索してください)

主催：自由学校まつり実行委員会



昨年の自由学校まつりの様子